

## 研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

ケアバンドル活用によるカテーテル関連尿路感染率の改善の取り組み

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2024 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日に昭和医科大学横浜市北部病院に入院し、膀胱留置カテーテルを挿入した患者さん。

### 2. 研究目的・方法

#### 研究の背景：

尿路感染とは、尿道から侵入した細菌が尿路で増えることで起こる感染症で、カテーテル関連尿路感染症とは、尿路に 2 日以上にわたりカテーテルが留置されている状態で発症する尿路感染症です。膀胱留置カテーテルは留置 1 日目から 3～10%の患者さんに細菌尿が発生し、留置 30 日で 100%の患者さんが細菌尿となり、院内尿路感染症の約 80%はカテーテル関連であると言われています。カテーテル関連尿路感染の予防は院内感染対策の重要な対策の一つです。カテーテル関連尿路感染症の発症有無は、実際に患者さんの治療・ケアにあたる現場スタッフと共有し、改善のための計画・実施・評価・見直しといった PDCA サイクルを回しています。また、ケアバンドルとは、科学的に有効性のある 3～5 の介入法を束ねて行うことで高い効果を得ようとする手法で、感染対策として主流な方法です。

#### 目的：

本研究では、2024 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日の間に昭和医科大学横浜市北部病院に入院し膀胱留置カテーテルを挿入した患者さんについて、ケアバンドルを用いたカテーテル関連尿路感染を減らすための活動について報告します。その上で、カテーテル関連尿路感染の感染率の推移を見ながら、ケアバンドルの有効性について検証します。

#### 研究の方法：

2024 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日の間に昭和医科大学横浜市北部病院に入院した患者さんについて、電子カルテからデータを収集し、日本環境感染学会の基準でカテーテル関連尿路感染症の発生の有無を確認します。また、ケアバンドルについて部署で用いたケアバンドルの評価表や実践方法をリンク

スタッフや現場スタッフに確認を行うことで、カテーテル関連尿路感染の感染率の推移と、ケアバンドルを用いたカテーテル関連尿路感染に関する成果を検証します。

### 3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026 年 8 月 31 日まで

### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景（性別、年齢、診断名、既往歴、基礎疾患、入院日、膀胱留置カテーテル挿入日、膀胱留置カテーテル抜去日、退院日、在棟期間、入院期間、入院病棟、転帰、治療内容）、バイタルサイン、カテーテル関連尿路感染の有無、尿培養検査結果、抗菌薬投与の有無

### 5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

### 6. 研究組織

研究責任者 昭和医科大学横浜市北部病院 看護部 福海 夏津子

### 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学横浜市北部病院 看護部 氏名：福海 夏津子

住所：神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 3 5 - 1 電話番号： 045-949-7710